

依存症講座



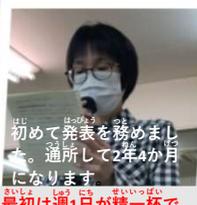
パッシブで生活支援員をしています。
身内がアルコール依存症になり、そういった家庭環境で私は育ちました。

大切な家族をアルコールで亡くしてしまった後悔を無駄にせず利用者様に家族目線で支援を心掛けてきたいと思います。



初めて発表をしました。
パッシブに入所して3か月目になりました。今回依存症講座で発表させて頂きました。

パッシブには春頃から行きたいと思い、慣れようという体験通所を何回も繰り返しました。やっと9月に入所できました。体験の時からあわててしまう私を皆さんずっと見守ってくれています。助けてくれます。仲間なんだとうれしくなります。(町田)



初めて発表を務めました。通所して2年4か月になりました。
最初は週1日が精一杯で、続けていくうちに出来ることも増え自信がつき、週3日通えるようになりました。

パッシブでは個人の能力ややりたいことに応じて作業内容を選ぶので負担を感じず続けることができます。調子をみながら、障害者雇用を目指したいです。(十河)



何かにつけ生きてゆくにはやっぱり働くことが大切という食わんがためというか、そのきっかけを作り出してくれたのがパッシブです。

生活の二環としてお弁当を作ることからスタートして、毎日通って体力づくりをして作業に気合が入ります。これを繰り返すことで一般の社会生活が実になるものと日々考えています。(井口)



日常清掃からスタートし、定期清掃など委託物件数が増えていきました。私自身ここまでお任せできるとは考えておりませんでした。要因は、佐藤さんと一緒に仕事をして感じた仕事に対する姿勢・責任感の強さです。今では信頼して物件をお任せしております。定期清掃をお願いしています平井さん、山下さん、上原さんも今では私無しで全て出来るレベルです。私の事業には、無くてはならないビジネスパートナーとなっており、パッシブさん無しではやっていけませんので、今後とも宜しくお願致します。(ダイキチカパーオールFCO 石川)

平成30年から2回目のパッシブへの通所を始めてから、経験のない清掃作業を通じて仕事を教えてくれている石川さんとの関係が自分にとっては大切な絆だと思っています。作業手順は勿論、仕事に対する考え方や責任感などを改めて勉強させていただいています。これからもまだまだ学びたいと思うので頑張っていきたいです。(佐藤)

有限会社オラシオン
大阪府で「訪問看護ステーションホーム」と「オラシオン相談支援センター」を運営しています。
専門スタッフアルコール関連問題や精神障がいのある方とのかかわりが、地域社会で生活する手助けをしています。

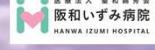


平成23年から毎月1回断酒会員さんと会議をして平成27年10月にスタジオパッシブが設立するまでの過程に参加しました。共に学び互いの考え方を知り一緒に目的に向かって走る充実した日々でした。スタジオパッシブには歴代の東大阪断酒会の方たちの思いが詰まっていると思います。(オラシオン 辻本)



いつもご支援いただきありがとうございます。柴尾さん始めパッシブの各メンバーの仕事に対する誠意ある姿勢や迅速な報連相にいつも感謝しています。これからも引き続き宜しくお願い致します。(橋本 八尾)

私がベルさんを知ったのは、ひがし布施クリニックで清掃作業をされているキーパーさんからの紹介でした。元々清掃の仕事にも興味があり、採用後早いもので7年が経ちます。最初は色々苦労もありましたが、楽しくお仕事をさせていただいています。これもまたベルスタッフさんのサポートのお陰だと思っています。これからも健康第一で頑張りたいです。(柴尾)



7年前に阪和いずみ病院に入院して治療プログラムを受けました。体験の分ち合いの大切さを教えていただき、退院後には病院の月例会に参加しています。断酒会にも入会して多くの仲間と知り合うことができました。当時お世話になった先生や看護師さんへ感謝の気持ちとさっぱり断酒してパッシブで頑張っていることを伝えたい想いでいっぱいです。(上原)

スタジオパッシブ 見学・体験大歓迎!
スタジオパッシブは、一般社団法人パッシブが運営する「障害者総合支援法」に基づく就労支援B型事業所です。依存症からの回復を目指します。
〒577-0057 東大阪市足代新町14番17号 ☎: 06-4308-8833 FAX: 06-4308-8834
✉: passos@osaka.email.ne.jp ■: http://www.studio-passo.com



ひがし布施クリニックでは毎週火曜日に依存症講座を開催しています。
○ 依存症についての知識
○ 治療後の新しい生活
○ 福祉制度
○ 体に及ぼす影響と健康
○ 心のケア
○ 就労支援
○ 自助グループ
などを学ぶことができる講座です。パッシブはこれの中で就労支援を担当させていたできました。(町田)

- パッシブの就労支援の特徴
- 心の支え
 - 働くためのモチベーションづくり
 - 働くためのコンディションづくり
 - 働くための体力づくり
 - 社会復帰のためのスキル向上
 - 対人関係の練習
 - 年齢に関係なく働ける環境
 - 作業内容の幅が広い などなど

依存症講座での発表で就労の大切さを伝えることができました!(十河)

十数年前入院していた某アルコール専門病院でケアの人に誘われケアに興味を持ちました。退院後、ひがし布施クリニックでケアに入りたいと担当ワーカーに話したところ、ケアに入れられてしまいました。結果的にはそれが良かったのか、何度失敗をしても仲間やスタッフが温かく迎えてもらいました。コロナ前のケアは結構忙しく、調理実習やお菓子作りなど入居らしには大変勉強になるプログラムが多く、依存症の勉強も沢山させてもらい、おかげで無事に酒を断りました。本当にケアには感謝しています。ひがし布施クリニックにも。(御田)

ミーティングの体験談を聞いていると、社会(仕事)復帰を希望される人が何人かおられます。就労にチャレンジしたいが、一般就労は少しハードルが高いと感じる人にスタジオパッシブを勧めたい。パッシブは雇用契約を結ばないが、対人関係、作業能力、集中力などが学べ身についてきます。依存症からの回復を目指している私たちには、パッシブの活動だけでなく、クリニックのプログラムや自助グループなどで絆を感じることができ、社会復帰につながると思います。(薦田)



今なんとか断酒を続けられるのも、藤井クリニックの関係者のおかげだと思えます。飲酒も止まらず大変しんどく辛い思いをたくさんしましたが、どんな時でも私を信じ励まし続けてくれました。私はその気持ちに応えたい、信頼されたい思いが日に日に強くなりました。このような思いが強い絆になり断酒を続けられる大きな力になったと思えます。これからもこの絆を大切に、強く太く断酒を続けていきたいです。(大西)



私は新生会病院に5回入院しました。4回目の入院の際、担当の看護師Kさんにすごく親身になっていただき、一日のスケジュールと一緒に立てたり、退院後の生活の準備を手伝ってもらったりしました。その時の感謝と断酒の決意が現在の生活につながっています。(山下)

絆 ~仲間と共に~

リカバリースペース
みーる



みーるでは主に発達や精神障害を持った人が多く通所しています。生活訓練を習得した後、食堂を運営しているB型事業所へステップアップしていきます。私はみーるでの経験が長いです。自身のステップアップを検討している時にパッシブという作業所があるのを知りました。じっくり自身と向き合ってから、パッシブに行くこと決めました。パッシブでは自分より年上の方が多いので、本当に自分が丸くなってしまいました。パッシブは依存症の方が多くいて仲間が増えた感覚があります。(小山)

ふせまちかど相談所

毎月の訪問時に福祉のことでわからないことを教えていただいて、とても助かります。これからもよろしく願います。(西村)



医療法人 以和興会
金岡中央病院
金岡中央病院の入院から5年が経ちました。ひがし布施クリニックを紹介されました。生活リズムも戻り、普通の生活を送っています。現在は、次のステップとして再就職を目指して進んでいます。(加藤)

編集後記：今回の「絆」いかがでしたか。皆の思いがあれず過ぎて載せられませんでした。また次回以降に取りあげたいと思います！お楽しみに！ 吉田